

居住地校交流

ゆり支援学校では、本校の子どもたちが住んでいる地域の学校で共に学ぶ「居住地校交流」を推進しています。

☆居住地校交流とは

○児童生徒の自宅のある地域の学校に担任と訪問し、同学年の友達と一緒に学習や行事に参加します。

- ・交流活動は1時間程度、年に1～2回の交流を希望しています。
- ・交流学習の内容や日時は相手校の担任の先生と相談して調整します。

○担任が同行し、必要な場面で個別に支援します。

- ・本人と学年、学級の友達がよい交流ができるように仲立ちします。

○児童生徒本人やゆり支援学校について知ってもらうために必要に応じて事前学習や事後学習などを行います。

- ・よりよい交流活動につながるように障害理解授業のお手伝いをします。お気軽にお声掛けください。

☆過年度の交流活動例

図画工作

- ・共同制作～一つの絵を完成させよう
- ・顔出しパネルの制作
- ・紙工作、おもちゃ作り



特別活動

- ・サイコロトークをしよう
- ・お楽しみ会をしよう
- ・互いの得意なこと好きなことを紹介しよう
- ・レクリエーション



音楽

- ・まねっこ遊び
- ・リズム打ち
- ・合奏（白くまのジェンカ、おもちゃのチャチャチャ）
- ・季節の歌を歌おう



外国語活動

- ・ABCソング
- ・英語でフルーツバスケット
- ・英語でかるた
- ・自己紹介



体育

- ・ユニバーサルスポーツ（ボッチャ、モルック）
- ・表現活動（ダンス、〇〇になりきろう等）
- ・鬼遊び



☆参加した児童生徒や教員の感想

久しぶりに小学校の友達に会えてうれしかったです。たくさん話せました。また交流したいです。(ゆり支援児童)

〇〇さんの気持ちを考えて交流できました。毎年楽しみにしているので、また来年も来てほしいです。(小学校児童)

どうすれば上手に交流できるのか、喜んでもらえるのか、一生懸命考えていました。

先生方の声

保育園からのつながりや、これまでの交流の積み重ねがあることで〇〇さんを、同じ仲間として接しようとしていました。

☆県内で行われている交流学習及び共同学習の取組事例や感想など、秋田県教育委員会発行の「交流及び共同学習にかかるガイド」に詳しく掲載されていますのでご覧ください。

